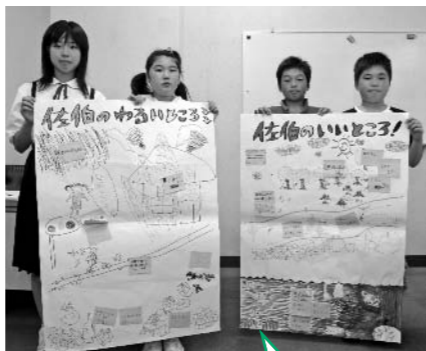


### お年寄りとの交流の機会を増やしてほしい

佐伯市では、郊外にお店が偏っていて、お年寄りはバスなどを使って買い物に行かなければならないので不便じゃないかなと感じました。

地域のおじいちゃんやおばあちゃんはいつも優しく、いろんなことを教えてください。ぜひ、子どもとお年寄りが交流できるような機会をもっとつくりたいと思います。



”ドリーム”グループ

### 地域の人々の安全のために広い道を作って

地域の人々がみんな優しい佐伯市にはたくさんのいいところがあります。

しかし、歩道が狭いところが多く、歩くときに不安を感じます。私たち子どもやお年寄りの方々でも、安全に安心して歩けるように、狭い道を広くしたり、歩道がなくて危険なところに歩道をつくらせたいと思います。



”じかたび”グループ

### 子どもの意見も取り入れて

佐伯は歴史や文化、自然が豊かなまちで、少しずつ名前も知られてきています。しかし、映画館がないなど、市の活性化が必要だという意見が出ました。

今回のこの報告会のように、子どもたちが佐伯のために考えている意見をもっと聞いてもらいたいです。そういった課が市役所があれば、もっと佐伯を大好きになると思います。



”オーシャン”グループ

## 西嶋市長も子どもたちに

### 真剣に聴きました！

子どもたちの視点で「もつといいまちにしていきたい」という思いがとてもよく伝わりました。

るので、みんなに知らせていきたいし、一緒に参加して欲しいと思います。

さて、ごみの問題ですが、毎年の「河川愛護デー」、そして今年からは「さいき903クリーンアップ大作戦」など、市民全体による活動で、川や道路をきれいにする取組を行っています。しかし、そういった活動をまだ知らないといった人もいます。

市の活性化については、昨年高速道路が完成したこともあり、企業誘致と、佐伯の豊かな海の幸などを活かした「食観光」を中心に、にぎわいを取り戻したいと考えています。あわせて、皆さんの通学やお年寄りの通行のためにも、便利で安全な道の整備を進め、より住みやすいまちづくりを目指しています。



「佐伯を思う皆さんの気持ちが伝わりました」と話す西嶋市長

市としても、市民の皆さんからたくさん意見を聞きたいと思っています。そのため「子ども議会」を開催したり、市長あての手紙「市民の声・市政への提言」を公民館などに置いたりしていますので、ぜひまた皆さんの声を届けてください。皆さんの意見を必ず活かすために生きていきます。



# ボクたちも真剣です！～佐伯きつずサミット報告会～ このまちのこれからのコト



「人が優しい!」「海の幸がおいしい!」など佐伯にはいいところがいっぱい!

7月31日に行われた県人教フォーラム「人權のまちづくり」佐伯大会の中の「佐伯きつずサミット」で、市内の小学5年生から高校生までの25人が4つのグループに分かれ、「佐伯をこんなまちにしたい」というテーマで真剣に話し合いました。8月28日、みんなだまとめた意見や要望を各グループ代表が、西嶋市長に報告に訪れました。

「子どもだって、立派な佐伯市民の一員」。発表には、大好きな佐伯市に対する真剣な思いがいっぱいに表れ、西嶋市長もその子どもたちの思いをしっかりと受け止めました。

報告会の様子をご紹介します。

### 豊かな自然を守ってほしい

佐伯市のいいところは魚がおいしいところ。そして、番匠川などの自然がとても豊かなところ。でも、今、海や川や山、道路など、私たちの目に見える多くの場所でごみが増え、その大切な自然が汚れていると感じます。時には、大人のごみのポイ捨ても見かけることがあります。

市や学校での清掃作業やボランティア活動、啓発運動の機会を増やし、みんながマナーを守ることで、佐伯の大切な自然を守ってほしいと思います。



”世界の佐伯”グループ